令和5年度　事業計画

社会福祉法人 名古屋市千種区社会福祉協議会

【基本方針】

少子高齢化や人口減少といった社会状況の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等により、人と人とのつながりの希薄化、住民の孤立化が一層進んでおります。８０５０問題、生活困窮、ひきこもり等の複合的な課題を抱える世帯や社会的孤立を背景に生きづらさを抱える方など、複雑化・多様化した課題が深刻化する中、地域をともにつくり高め合う「地域共生社会」の実現を目指し、「地域づくり」「参加支援」「相談支援」を一体的に進める「重層的支援体制」の構築が求められています。令和３年４月、社会福祉法の改正により、包括的な相談体制の構築を図る「重層的支援体制整備事業」が法律に位置づけられ、現在、市内８区においてモデル的に事業が実施されています。千種区を含む８区では、令和６年度からの事業実施に向けて準備が進められており、本会においても名古屋市社会福祉協議会と連携し、この事業を受託できるよう準備を進めてまいります。

また、本年度は、「第４次地域福祉活動計画」の最終年度であり、推進委員のみなさまと協議を進めながら、着実な実践と評価を行い、新たな課題に対応する「第５次地域福祉活動計画」（令和６年度から令和１０年度までの５ケ年計画）を策定します。本会の理念である“誰もが安心して生活できる千種区”を目指し、引き続き、各学区の地域福祉推進協議会をはじめ、福祉関係機関・団体、福祉サービス事業所、ボランティア、ＮＰＯ、区役所などの行政と連携を取りながら進めてまいります。

１　「第４次地域福祉活動計画」（第４次計画）の推進と「第５次計画」の策定

誰もが安心して生活できる千種区を目指し、第４次計画（計画期間：令和元年度から令和５年度）を、区民のみなさまをはじめ、関係機関・団体、福祉サービス事業者や行政などと連携・協働しながら推進します。本年度は、第４次計画の最終年度であるため、着実な実践と評価を行いながら、新たな課題に対応する「第５次計画」を策定します。策定にあたっては、広く策定作業委員を募り、策定作業部会委員会を中心に議論を進めていきます。

今年度の主な取り組み

（１）　地域に目を向け、地域を知る「きっかけ」づくりチーム

★「地域デビュー講座」の開催

地域活動、ボランティア活動の新たな担い手確保を目指し、「地域デビュー冊子」、「え～ひと紹介カード」（Ｐ３参照）を活用し「地域デビュー講座」を開催します。

講座は実際に活動している方々の協力も得ながら開催するとともに、新たに企業や商店街などへ積極的に働きかけます。

★「福祉情報配置店」の設置・「インスタグラム」の発信

身近な場所で福祉情報を入手できることを目指し、本会広報紙をはじめサロンマップ等の各種福祉情報紙を配架いただく「福祉情報配置店」の拡大に努めます。

また、「インスタグラム」のフォロワー数は４，０００を超え、新たな企業との事業連携につなげていきます。引き続き、地域活動やボランティア活動などの情報発信に努めながら、フォロワー数の増加を目指します。

登山家の三浦雄一郎氏ﾒｯｾｰｼﾞ入り「デビュー冊子」

企業と連携した「美容と健康」講座

（２）地域を学び、地域で活躍する「ひとづくり」チーム

★「え～ひと紹介カード」の作成

新たに地域活動の担い手を発掘するため､活動イメージを抱いてもらうことを目的に、実際に活動する方々の具体的な内容、新たな活動者へのメッセージなどを記載した「紹介カード」を作成します。紹介カードは生活支援や介護予防など幅広い分野で収集し、地域デビュー講座やボランティアセンターでの調整などで活用します。

★「子どもの支援を考える交流会」の開催

子どもの健やかな成長と子育て世代の支援などを目指し子ども・子育て関連団体の関係者による交流会を開催します。子どもたちの居場所となり、地域住民同士の顔の見える関係づくりにつながる子ども食堂の拡大を図るとともに、子どもの健全な成長を促す取り組みを支援します。

<氏　名>

<所　属>　災害ボランティア ちくさネットワーク

<活動内容>
【災害ボランティア】被災地に赴き、災害ボランティアセンターを通じた活動で、被災地支援や復興に協力しています。現地で学んだことを千種区で広める活動もしています。

～ひと言メッセージ～
「被災者からの見返りを求めず、自分ができる時、できる事をする」をモットーとしている。地域貢献をしたいと思い、当初は消防団に参加したが、市の災害ボランティアコーディネーターの講座をきっかけに災害支援の活動を始めた。被災地では、その悲惨な状況を前にして、無力さや辛さを感じてしまい、行ったことを後悔する気持ちにもなる。それでも、目の前の１人、１軒のための活動を通じて、復興に協力できたという達成感もある。深く考えたら始められない。やろうとした時は「おもいきり」が大切。

紹介カード

令和４年度開催の「子どもの支援を考える交流会」

（３）地域を基盤とした「つながりづくり」チーム

★「つながりカルタ交流会」の開催

地域のサロンやイベントなどへの参加促進を目指し、人・地域とのつながりの大切さを呼びかける「カルタ交流会」を開催します。つながりをテーマにした川柳・イラストが描かれたカルタに加え、実際に日々のつながりの大切さを実感している方々の体験談も交えながら、住民同士の顔の見える関係強化を図ります。

★「あったかお便り」の送付

外出機会が減った気になる高齢の方、障がいのある方の見守りと困りごと解決などを目指し、「あったかお便り」を年３回郵送します。お便りの中身は、大学生などが作成したメッセージカードをはじめ一筆箋、福祉情報紙、工作などで、一筆箋から把握した情報で対応の必要があれば、関係機関と連携し対応に努めます。

また、返送いただいた作品は、在宅サービスセンターに設置された“つながりツリー”に展示し、来館者に楽しんでいただきます。

児童館で開催された「カルタ交流会」

在宅サービスセンターに設置の「つながりツリー」

２　「地域福祉活動」の推進

（１）「地域福祉推進協議会」（推進協）との連携

各小学校区に組織される推進協と連携し、地域の福祉課題解決に向けた取り組みをを行います。住民同士の交流事業をはじめ、「ふれあい給食サービス事業」や「ふれあいネットワーク活動」等の活性化に向け、従来どおり、各学区ごとに担当職員を配置し、きめ細やかな支援を行うとともに、第一線で活動する方々を対象とした研修会も開催します。

（２）「地域支えあい事業」への支援　市受託事業

住民同士の助け合いによる困りごと解決等を目指す「地域支えあい事業」の実施学区拡大を目指し、各学区の会合等に出向き、働きかけを行います。

また、本事業を行う６学区（千代田橋・自由ケ丘、富士見台・春岡・内山・千石）の継続的な支援に向け、ご近所ボランティアを対象とした研修会や新たな担い手確保に向けた「養成講座」を開催します。

令和４年度「推進協研修会」

令和４年度から始まった「千石学区地域支えあい事業」

（３）「高齢者サロンの整備等生活支援推進事業」の推進　市受託事業

①「高齢者ふれあい・いきいきサロン」（サロン）への支援等

住民同士の仲間づくりや介護予防等を目指すサロンの活性化を図ります。サロン運営上の悩み解決やサロンで取り組めるプログラムの取得に向けた「サロン運営者育成研修」（3 回）をはじめ、サロン参加者の増加等を目指し、「サロンマップ」の発行、区民まつりや地域イベント等での「サロン出張説明会」を行います。

また、新たなサロン開設場所の確保を目指し、集合住宅の集会所や商店街等への働きかけを行います。

②「生活支援連絡会」の開催

「地域支えあい事業」などの生活支援サービスの充実とサロンの拡充に向け、関係機関・団体と協議・実践する「生活支援連絡会」を年３回開催します。

また、活動状況等を地域包括ケア推進会議に報告し、連携を図ります。

令和４年度「サロン運営者育成研修」（テーマ：認知症予防）

令和４年度作成の「サロンマップ」

（４）「高齢者はつらつ長寿推進事業」（はつらつ事業）の実施　市受託事業

高齢の方々の介護予防や仲間づくりなどを目指す「はつらつ事業」を、コミュニティセンター等の８会場で実施します。

また、はつらつ事業参加終了後、地域活動やボランティア活動への参加勧奨にに向けた相談や橋渡しなどの支援を行います。

はつらつ事業参加者が製作した「ユーカリーナ救出ゲーム」

体操で汗をかく参加者

（５）「寝具クリーニングサービス事業」の実施

布団を干すことが困難な６５歳以上のひとり暮らしの方などを対象とした「寝具クリーニングサービス」事業(11 月)を実施します。事業を円滑に進めるため、民生委員のみなさまの協力をいただきながら、高齢者の一層の見守りと生活環境の向上などを目指します。

（６）「キラキラ☆サンタ事業」の実施

花水木鯱城会（高年大学鯱城学園卒業生で結成）等のご協力をいただき、民生委員のみなさまが中心に取り組む子育てサロンや保育園などへサンタクロースやトナカイを派遣する「キラキラ☆サンタ」事業（12 月）を行います。

サンタと楽しく触れ合う参加者

（７）「名古屋市いこいの家事業」の実施　市受託事業

言葉や心身の発達の遅れが気になる子どもとその保護者を対象に、千種児童館等で親子遊びや相談会などを行い、保護者の不安や悩みの解消、保護者同士の仲間づくりを行います。

（８）「福祉関係団体等」への支援

共同募金の配分金を使い、高齢者福祉活動（学区敬老事業助成、ふれあい給食事業助成など）、障がい児・者福祉活動（手をつなぐ育成会が行う福祉活動への助成など）、児童・青少年福祉活動（子ども会活動、学童保育活動への助成など）、住民全般福祉活動（推進協あんしん事業助成など）等への事業助成を行います。

３　「ボランティア活動」の推進

（１）「ボランティアセンター」の運営

ボランティア活動の推進拠点として、ボランティア活動に関する各種相談、情報提供等を行う「ボランティアセンター」を運営し、ボランティア活動の促進を図ります。

（２）「ボランティア」への支援

区内で活動するボランティア団体などで組織される千種区ボランティア連絡協議会と協力し、子どもたちの学習支援や世代間交流事業を行いながら、ボランティアィア同士の交流をはじめ、新たな活動者の確保を目指します。

また、在宅サービスセンターのボランティアルーム、研修室、調理実習室等の活動場所の無償貸し出しと各種相談に対応しながら、活動支援を行います。

（３）「福祉教育」の実施

ボランティア団体等と連携し、小・中学校や地域に出向き、高齢者疑似体験やアイマスク体験、障がいのある方との交流をとおし、子どもたちの福祉に関する理解促進とボランティア活動への参加促進を目指します。

児童館での学習支援事業「しんぽスクール」

小学校で行われた車イス体験

（４）「各種養成講座」の開催

生活支援ボランティアや福祉教育サポーターの協力者の拡大に向けた養成講座を開催します。講座の開催にあたっては、千種区ボランティア連絡協議会や地域団体等との意見交換を行いながら進めます。

（５）「災害ボランティアグループ」との連携

「災害ボランティアちくさネットワーク」と連携し、大規模災害発生時に名古屋市からの要請で設置する「災害ボランティアセンター」の運営訓練を実施します。

また、区総合防災訓練、総合水防訓練への参加をはじめ、地域イベントや学校等に出向き、防災講話やゲームなど交えた啓発活動を行います。

網戸の張替えを学ぶ受講生

災害時に備えたトイレ組立講習会（於：トヨタモビリティゲート吹上）

４　「広報活動」と「財政基盤強化」の推進

（１）本会広報紙「はなみずきのまちだより」の発行

区民のみなさまに有益となる福祉情報を掲載した広報紙を年３回発行（7・11・3 月）します。在宅サービスセンターをはじめ、区役所、コミュニティセンター、福祉情報配置店等に配架するとともに、各学区の回覧板等でお届けします。

（２）「福祉情報配置店」の設置

身近な場所で、さまざまな福祉情報を入手できるよう、「福祉情報配置店」（P２参照）を設置します。

（３）「ホームページ」「インスタグラム」の運営

ホームページは、常にタイムリーな情報発信に努めるとともに、インスタグラム（P２参照）を活用し、ボランティアや地域イベント情報などを発信します。

（４）「ユーカリーナ」を用いたＰＲ

世代を超えて利用いただける実用的なグッズを製作・販売するとともに、在宅サービスセンターに「おみくじ募金」「ガチャガチャ募金」を設置し、共同募金運動に協力します。

各種ユーカリーナグッズ

おみくじ募金

ガチャガチャ募金

（５）賛助会員の募集

町内会・自治会をはじめ、民生委員のみなさまなどのご協力をいただきながら、本会が取り組む各種事業の財源基盤となる賛助会員を募集します。

【参考】個人１口５００円　法人・団体１口５，０００円

（６）赤い羽根共同募金（共同募金）運動への協力

千種区共同募金委員会の事務局を運営し、共同募金の周知・広報に努め、町内会・自治会をはじめ、民生委員のみなさまなどのご協力をいただきながら運動を進めます。

また、事業連携先の企業・団体等へ積極的な募金依頼を行うとともに、新たな地域イベント等へ参加やグッズ販売等も行いながら、募金の増強に努めます。

東山動植物園前での街頭募金

５　「生活福祉資金貸付事業」の実施

愛知県社会福祉協議会から業務を受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯、離職者等に対し、民生委員のみなさまをはじめ、名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター、行政機関等と連携し、資金貸付と援助指導を行うことで、援助世帯の安定した生活基盤の確立を目指す生活福祉資金貸付事業を行います。

６　「デイサービスセンター」の運営

利用される方の心身機能の維持やご家族の介護負担軽減等を図るため、通所介護事業を実施します。健康チェックをはじめ、入浴、昼食、レクリエーション、口腔ケア機能向上事業等を行いながら、利用される方の自立した日常生活の維持・向上に努めます。また、昼食はボランティアグループ「はなみずき」の協力のもと、愛情のこもった“手作り料理”を提供します。

愛情込めて料理を作るボランティアさん

７　「都福祉会館・千種児童館」の管理運営　指定管理事業

名古屋市からの指定管理４年目（指定期間５年）として、両館の管理運営を行います。

【福祉会館の主な実施事業】

（１） 生活、健康相談などの相談事業

（２） 教養の向上及びレクリエーションに関する事業

（３） 機能回復訓練（リハビリ体操、健康体操、筋トレッチ体操）

（４） 健康づくり事業（医師の健康講話、音楽療法等）

（５） 仲間づくり、憩いの場の提供（同好会活動）

（６） 名古屋市北部回想法センターの運営

認知症予防ﾘｰﾀﾞｰによるｸﾞﾙｰﾌﾟ回想法

（７） 高齢者サロンでのレクリエーションなど地域と連携した事業

（８） 認知症予防事業　市受託事業

【児童館の主な実施事業】

（1） 子どもの育成活動（多様な企画、季節行事等）

（2） 子育て支援活動（ベビーマッサージ、育児相談等）

（3） 地域福祉促進活動

（4） 留守家庭児童健全育成事業

（5） 名古屋市中学生の学習支援事業（ひとり親家庭等）

（6） 高校生の学習継続支援事業

（7） 中高生の居場所づくり事業

（8）移動児童館などの地域と連携した事業

ハロウィンを楽しむ参加者

８　「名古屋市社会福祉協議会事業」への協力

（１）「千種区西部いきいき支援センター（地域包括支援センター）」への協力

① 区域の地域包括ケアシステムの構築

ア）区地域包括ケア推進会議 事務局の運営協力

イ）区地域包括ケア推進会議 認知症専門部会の運営協力

② 高齢者に関する相談事業（総合相談・権利擁護）

③ 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

④ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

ア）民生委員と介護支援専門員の情報共有同意書の運用

イ）介護支援専門員向け講座の開催

ウ）ケアマネサロンの実施

⑤ 高齢者見守り支援事業の実施

⑥ 認知症の人を介護する家族支援事業の実施

⑦ 認知症地域支援推進員との連携

⑧ 認知症サポーターの養成・活動支援

⑨ 認知症カフェの開設・運営支援

⑩ 認知症初期集中支援チームの設置

（２）「千種区介護保険事業所」への協力

① 訪問介護（なごやかヘルプ）事業の実施

ア）高齢者への訪問介護・介護予防訪問介護事業の実施

イ）予防専門型訪問サービス（介護予防・日常生活支援総合事業）の実施

ウ）障がい者等の居宅介護事業・移動支援・同行援護

エ）産前・産後、ひとり親、養育支援などの家事介護サービス

オ）制度では対応できない外出支援、通院介助などの生活応援サービス

② 居宅介護支援事業の実施

③ なごやかスタッフ（訪問介護員：ヘルパー）及びその OB・OG の
地域社会貢献活動の参加支援